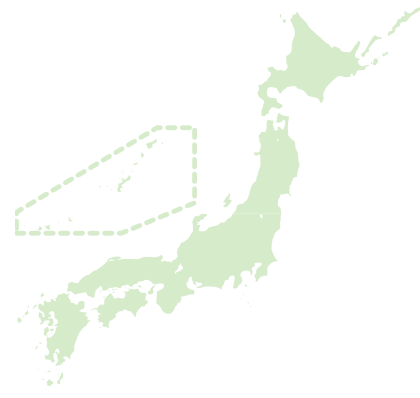


平成27年度

「言語聴覚の日」イベント報告



兵庫県

兵庫県言語聴覚士会では、今年度初めて「言語聴覚の日」のイベントを行いました。10月4日（日）に神戸しあわせの村で開催された「こうべ福祉・健康フェア」にブースを出展し、簡易聴力検査や小児・成人の嚥下・言語の相談コーナーを設けました。

当日は、晴天に恵まれ、大勢の家族連れが来られており、テントで自作の小物やクッキー、焼きそばを売る店、不用品のリサイクルショップ、ゲームコーナーなど大盛況でした。言語聴覚士会は医師会や、薬剤師会、理学療法士会と同じく体育館での出展となりました。

この日のために、黄色いのぼりとはっぴを用意し、兵庫県言語聴覚士会のパンフレットを配布すると、「言語聴覚士って何をする人？」といった方が多い中、「STさんやね」という反応の方もありました。まだまだ言語聴覚士の知名度が低いことを再認識させられました。それでも、隣のブースで血圧や骨密度などを測ったあとに、「ここで聴力を測れるんですね」と聴力測定を受けられる方が多く、130人あまりの方が立ち寄られました。相談コーナーには、「最近むせることがあって困ります」、「のどに物がつかえるかんじがして・・・」、「人によって、聴きにくい声と聴きやすい声があるのはどうしてでしょうか」、「少し言葉がいいにくい感じがするときがあるのですが・・・」など、嚥下や構音に関するご相談もありました。

今回の体験をふまえ、早くも来年度の構想ができていますので、次回はさらに充実した「言語聴覚の日」になることと思います。休日にご参加くださった会員の皆さま、ありがとうございました。

兵庫県言語聴覚士会
副会長 石塚君予

